

# 人権に関する 県民の意識

人権に関する県民意識調査から

## 21世紀を人権の世紀とするために

愛知県では、平成9年12月に、差別や偏見のない郷土愛知の実現を目指して一層の努力をしていくことを宣言するとともに、平成13年2月には、「人権教育・啓発に関する愛知県行動計画」を策定し、学校、地域、家庭、職場などの、あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進に取り組んでいるところです。

こうした中で、人権に関する県民の意識を把握し、人権教育や啓発を進めていく基礎資料とするため、前回調査から5年が経過しました平成19年度に「人権に関する県民意識調査」を実施しました。このパンフレットは、その調査結果を取りまとめたものです。

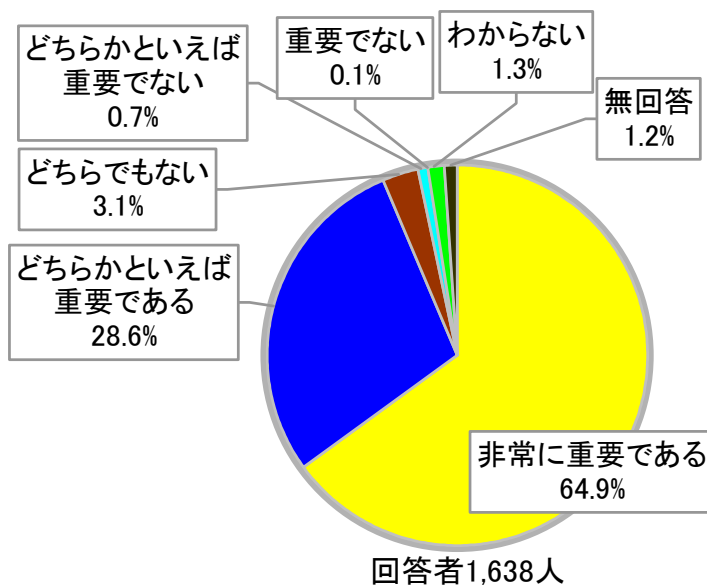
21世紀は、「人権の世紀」とも言われています。人権が尊重され、差別や偏見のない社会を実現するために、私たち自身の人権意識や人権感覚を、もう一度見直してみませんか？



# 人権意識について

## Q1 「人権」についてあなたの考えに近いものはどれですか。

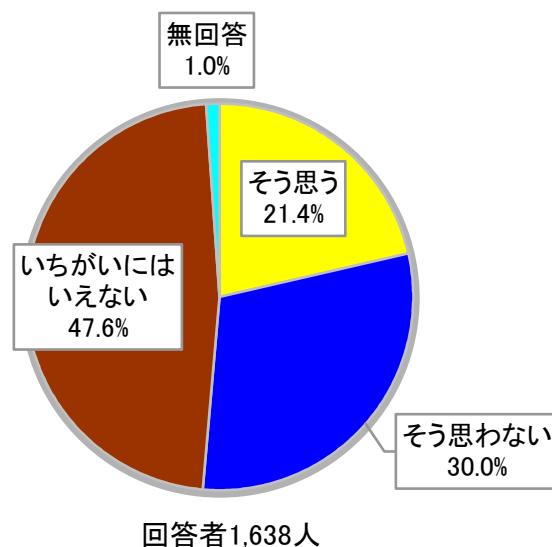
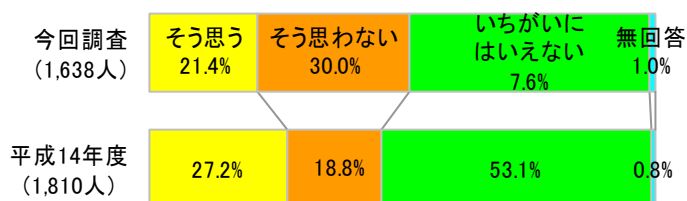
9割以上の方が、「人権」は、重要であると考えています。



## Q2 今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思いますか。

今の日本が、基本的人権が尊重されている社会だと思う人は、全体の約2割となっている一方、「そう思わない」という人が、3割になっています。

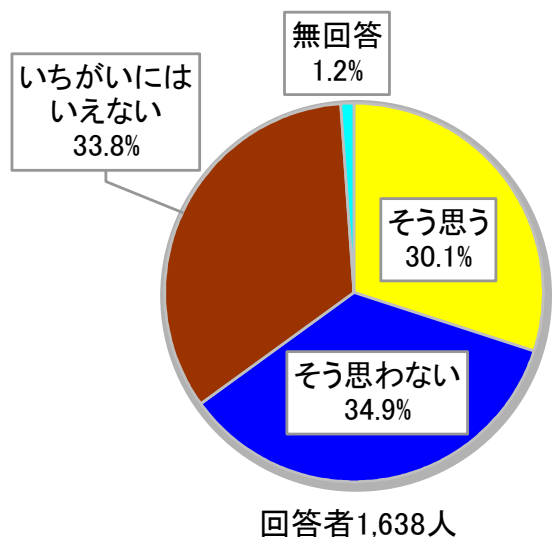
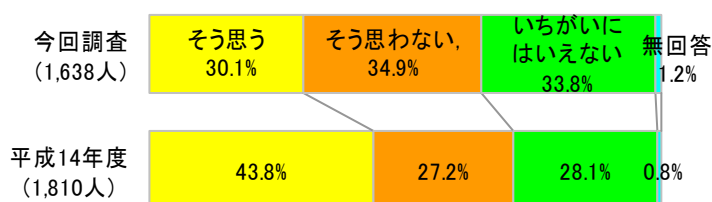
前回調査と比較すると「そう思う」が5.8ポイント減少し、「そう思わない」が11.2ポイント増加しています。



## Q3 国民（県民）一人ひとりの人権意識は、10年前に比べて高くなっていると思いますか。

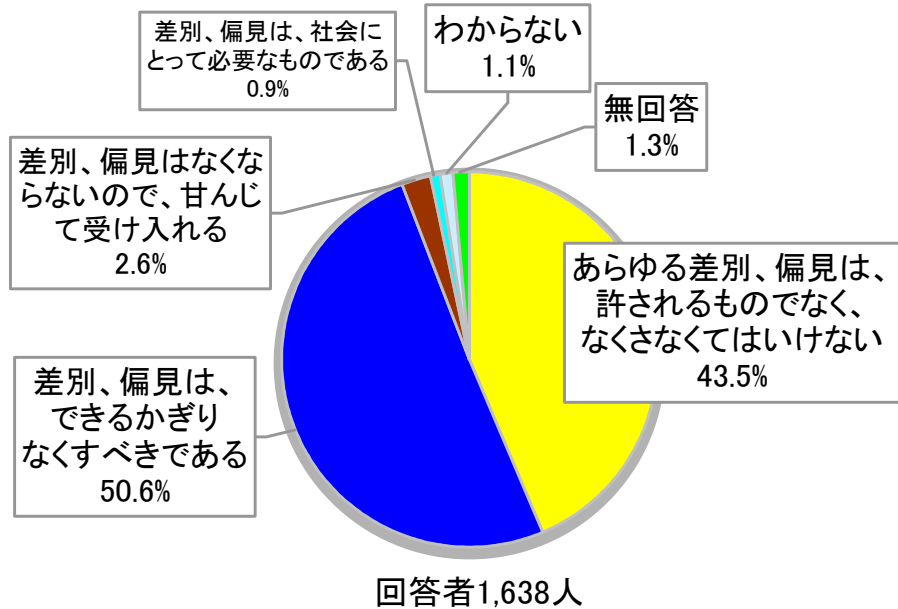
10年前に比べ、「人権意識が高くなっている」と思う人が3割となっている一方、「そう思わない」という人が3割強になっています。

前回調査と比較すると「そう思う」が13.7ポイント減少し、「そう思わない」が7.7ポイント増加しています。



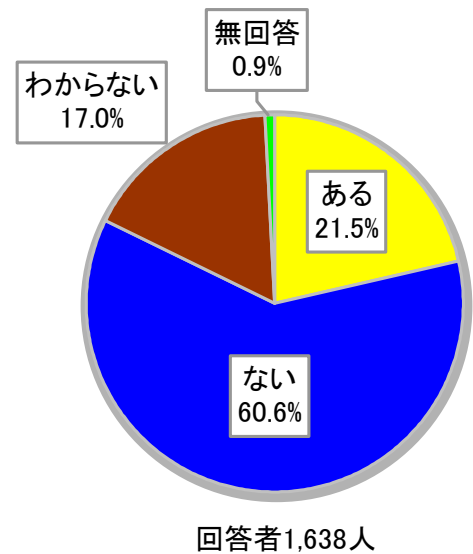
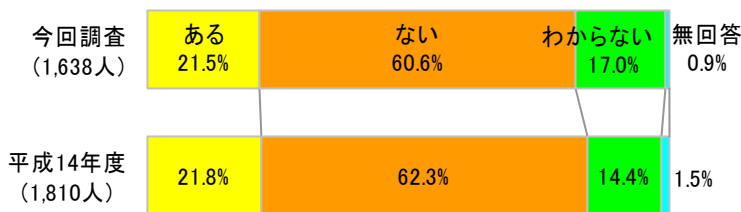
**Q4 日本社会にある差別や偏見について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。**

「あらゆる差別、偏見は、許されない」、「差別、偏見はできるかぎりなくすべきである」と答えている人が9割以上となっています。



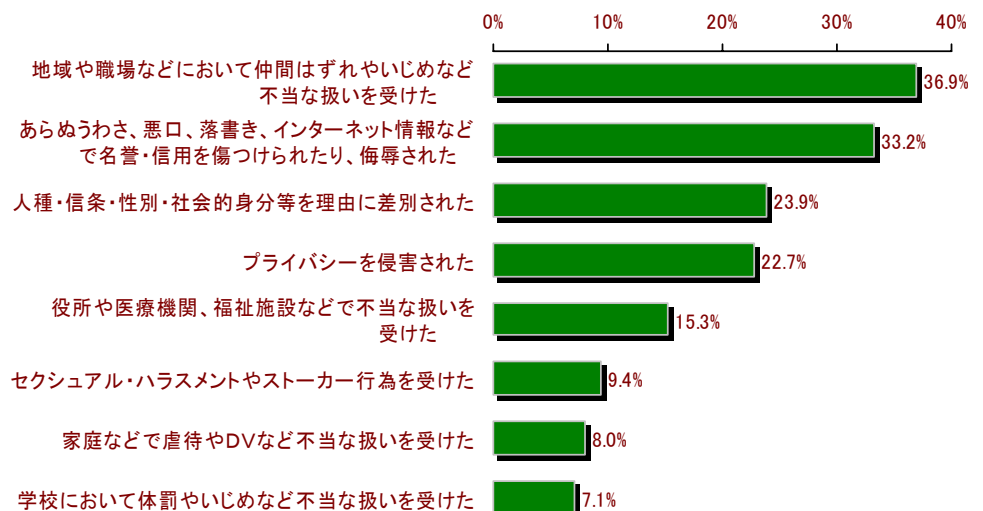
**Q5 あなたは、この10年程の間に、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。**

前回調査と同様にほぼ5人に1人が、自分の人権が侵害されたと思ったことがあると答えています。



**Q6 さしつかえなければ、あなたが自分の人権を侵害されたと思ったのは、どんな場合であったかお聞かせください。〔複数回答〕**  
〔Q5で10年程の間に、自分の人権が侵害されたことがあると答えた方に聞きました〕

「地域や職場などにおいて仲間はずれやいじめなど不当な扱いを受けた」と4割弱の人が答えている一方で、「人種・信条・性別・社会的身分等を理由に差別された」という人が2割強、自らがストーカー行為や家庭でのDV、学校での体罰を受けたという人がそれぞれ1割弱います。

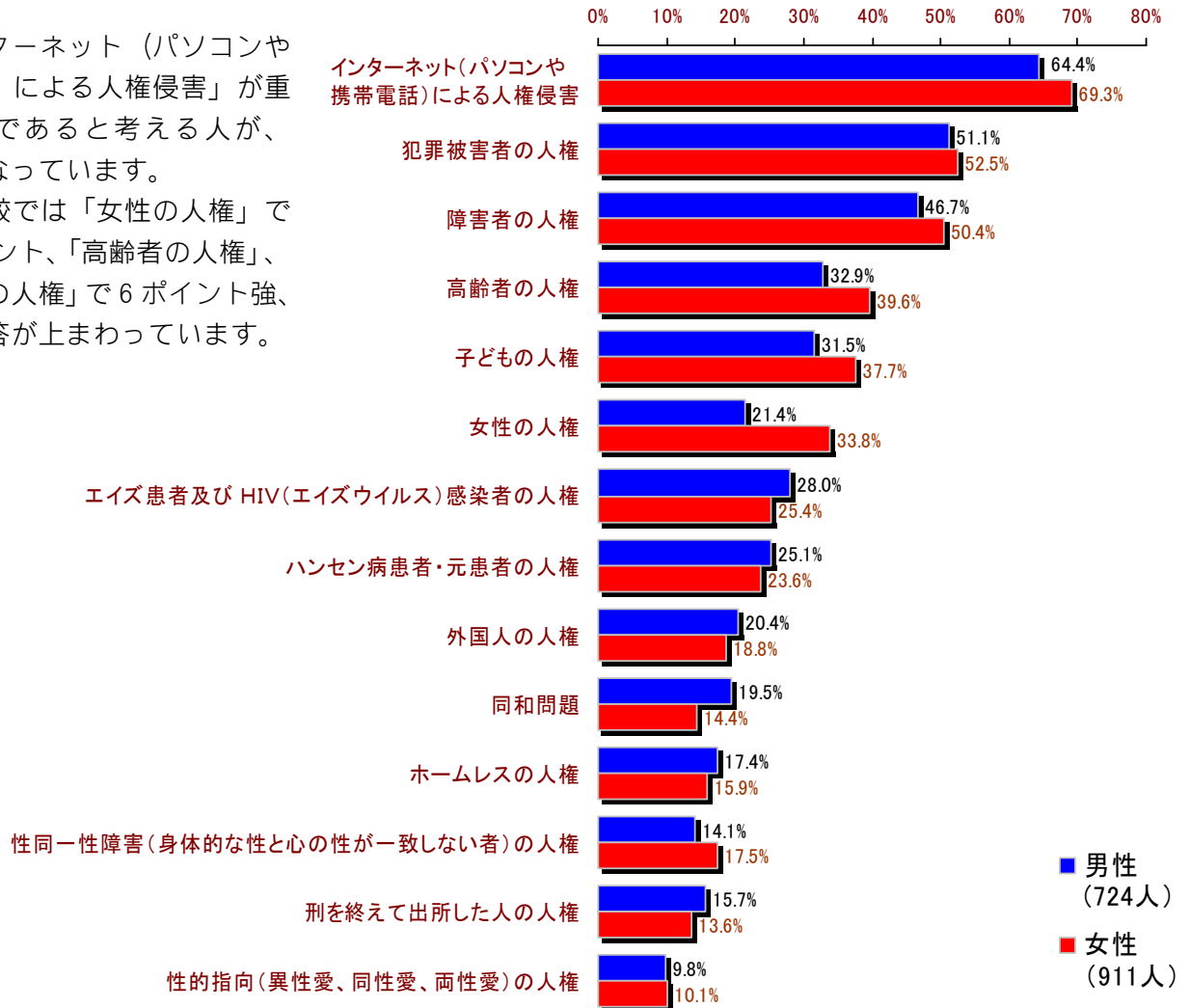


回答者352人

**Q7 日本の社会における人権にかかわる問題として、重要な問題は、どれだと思いますか。〔複数回答〕**

「インターネット（パソコンや携帯電話）による人権侵害」が重要な問題であると考える人が、約7割となっています。

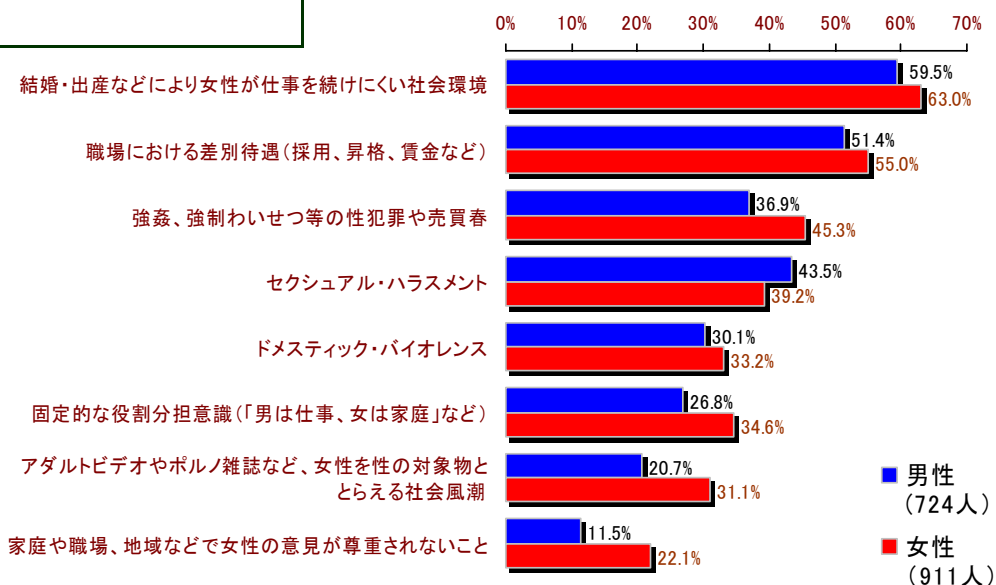
男女比較では「女性の人権」で12.4ポイント、「高齢者の人権」、「子どもの人権」で6ポイント強、女性の回答が上まわっています。



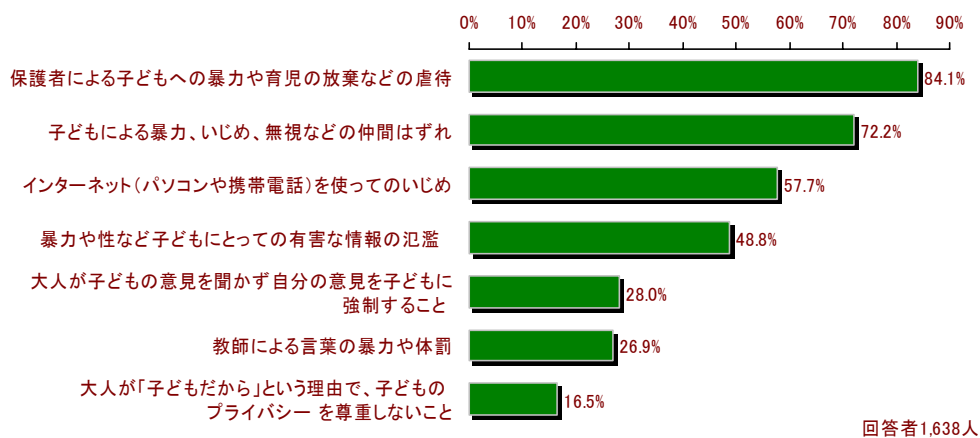
# さまざまな人権問題について

## Q8 女性の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。〔複数回答〕

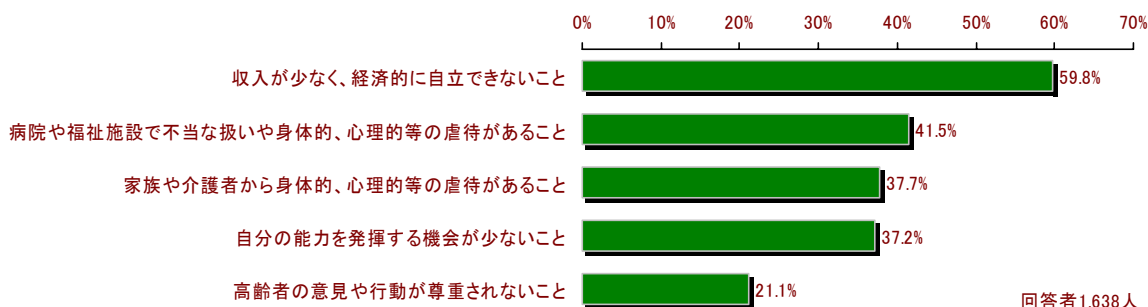
男女比較では、「家庭などで意見が尊重されない」、「女性を性の対象ととらえる」とする回答で10ポイント強の男女差があります。



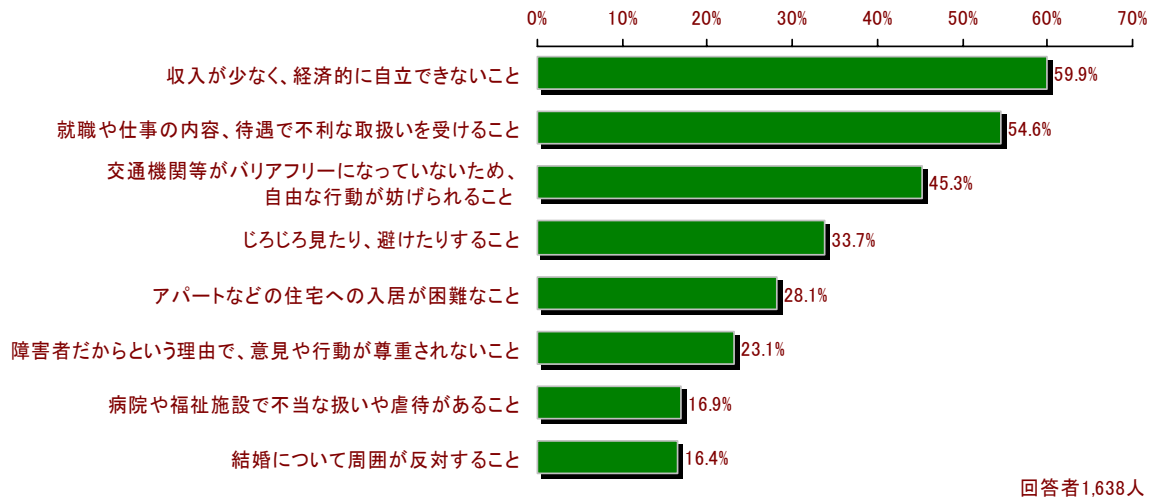
## Q9 子どもの人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。〔複数回答〕



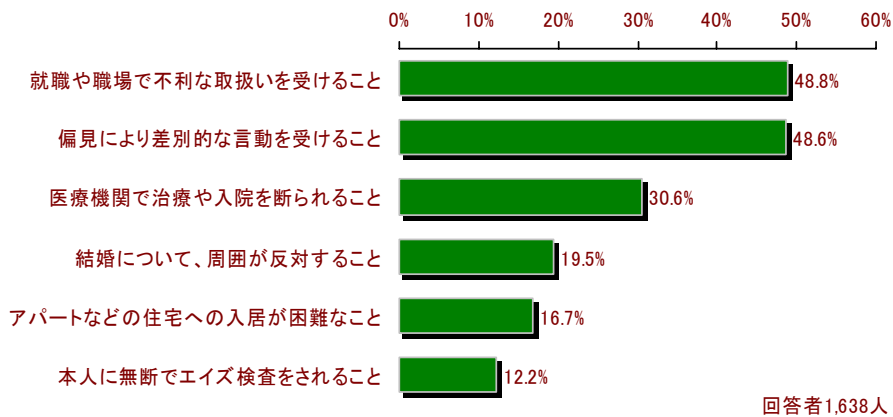
## Q10 高齢者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。〔複数回答〕



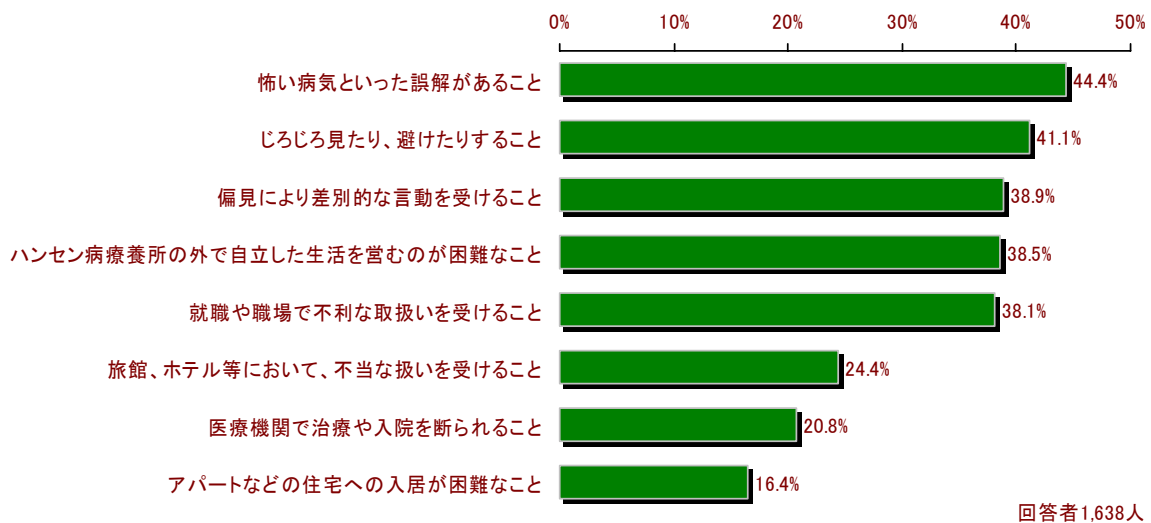
**Q11 障害者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。〔複数回答〕**



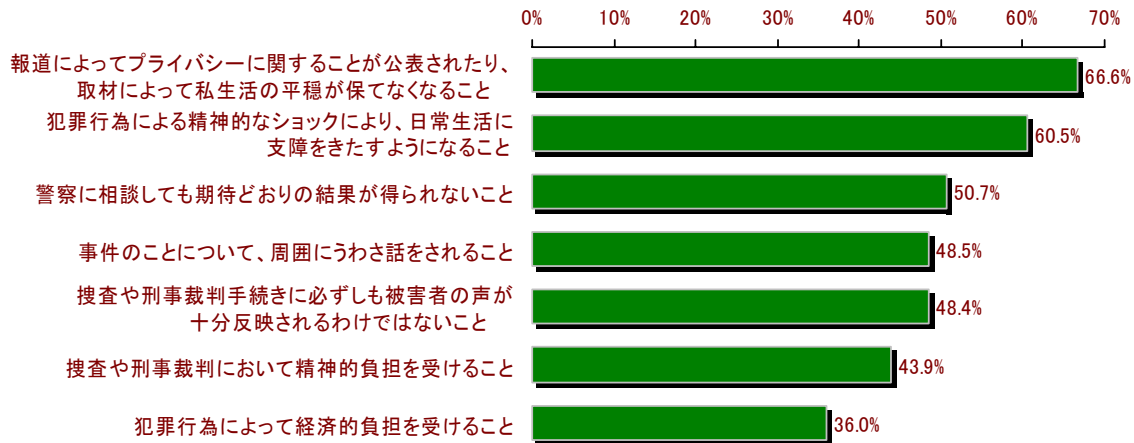
**Q12 エイズ患者・HIV（エイズウイルス）感染者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。〔複数回答〕**



**Q13 ハンセン病患者・元患者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。〔複数回答〕**

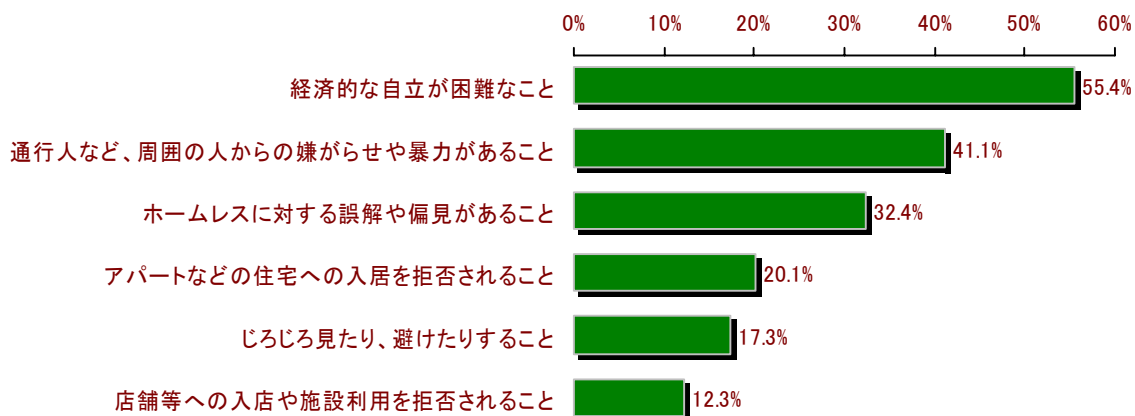


**Q14 犯罪被害者の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。〔複数回答〕**



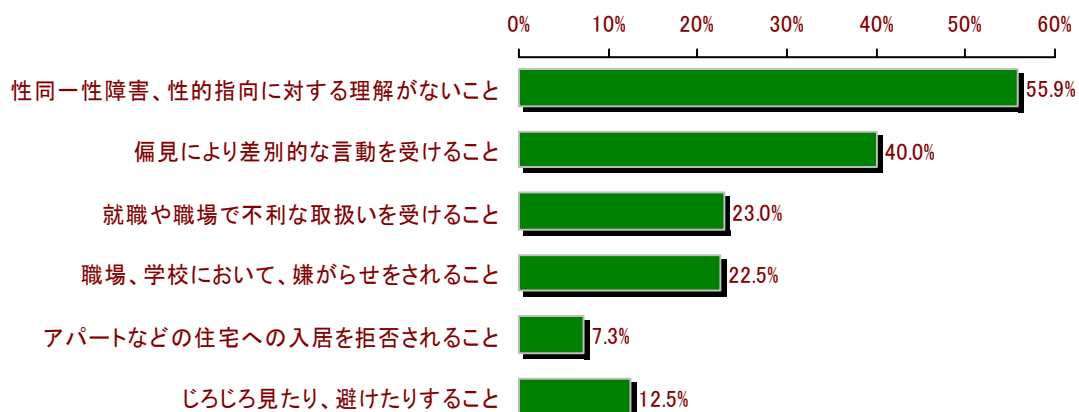
回答者1,638人

**Q15 ホームレスの人の人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。〔複数回答〕**



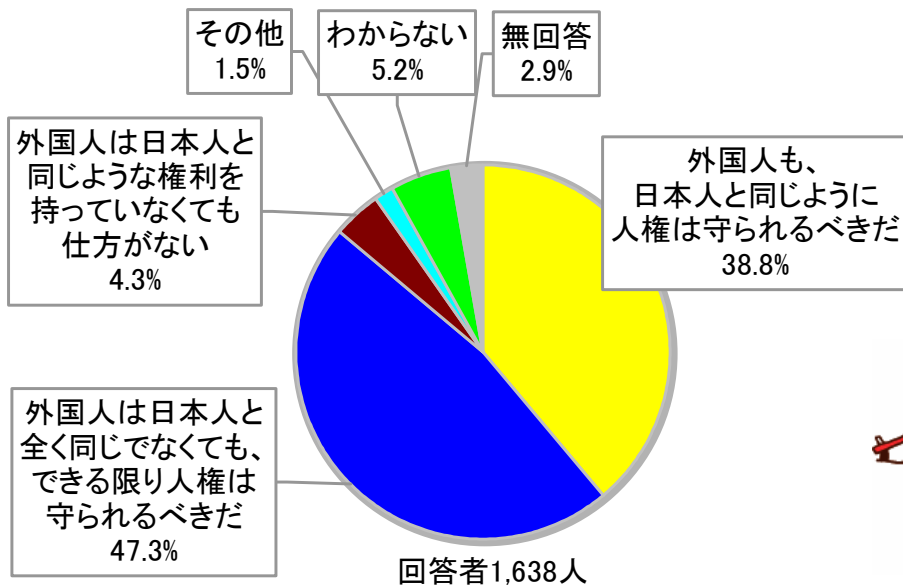
回答者1,638人

**Q16 性同一性障害者及び性的指向に関する問題で、人権が尊重されていないと思うのは、特にどのようなことですか。〔複数回答〕**

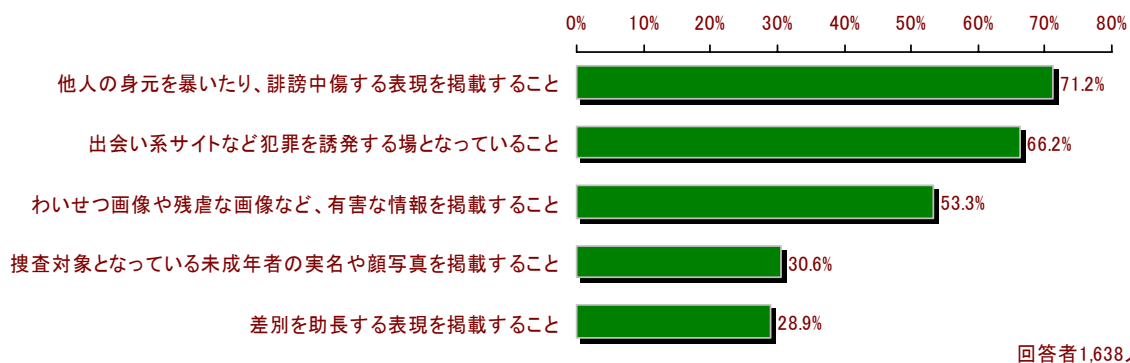


回答者1,638人

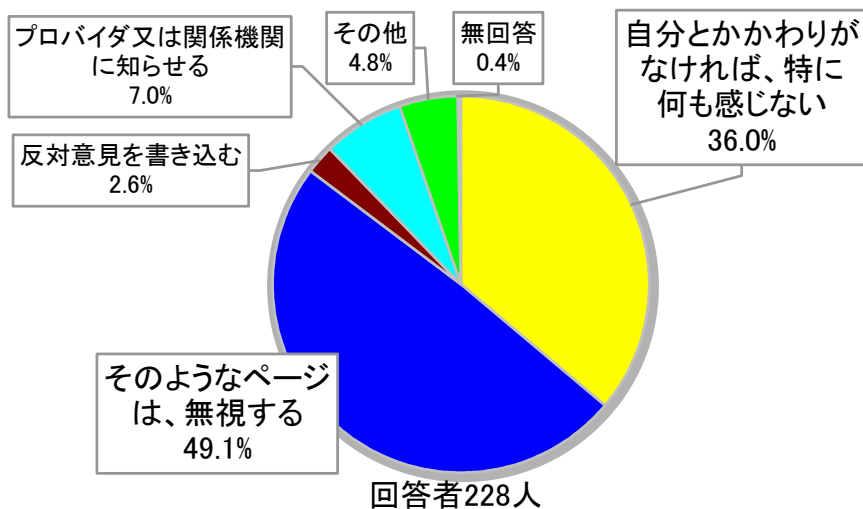
**Q17 外国人の人権擁護について、あなたの考えに近いものはどれでしょうか。**



**Q18 インターネットによる人権侵害の問題は、特にどのようなことですか。〔複数回答〕**



**Q19 インターネット上で、人権侵害と思われる書き込みなどを発見した場合にどうしますか。〔インターネットを利用し、他人を誹謗中傷するようなページを見ると答えた人に聞きました。〕**



「プロバイダ又は関係機関に知らせる」と7%の人が答えています。



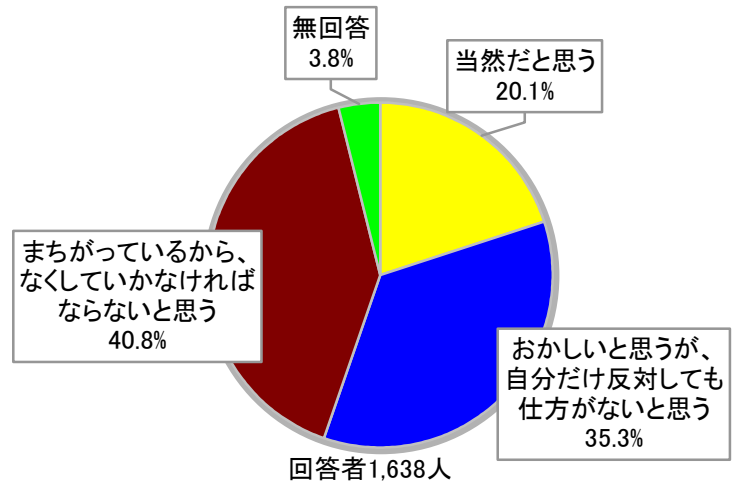
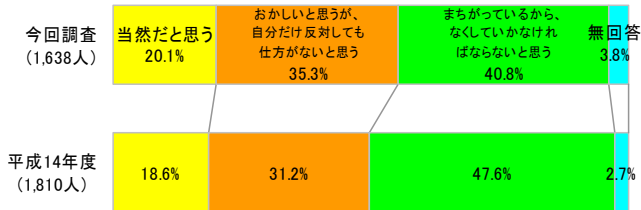


# 家柄・血筋を問題にする風習について

## Q20 結婚相手を決めるとき、家柄とか血筋を問題にする風習について、あなたはどのように思いますか。

4割の人は、「なくしていくべき」と考えている反面、「当然だと思う」、「反対しても仕方がない」という人が合わせて5割強います。

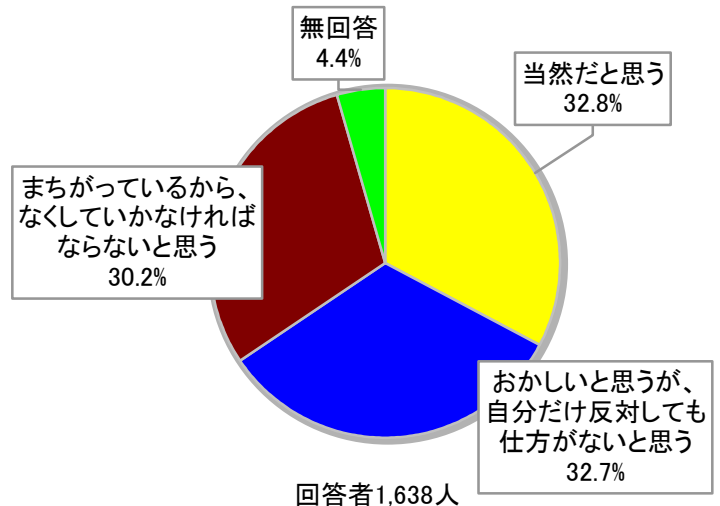
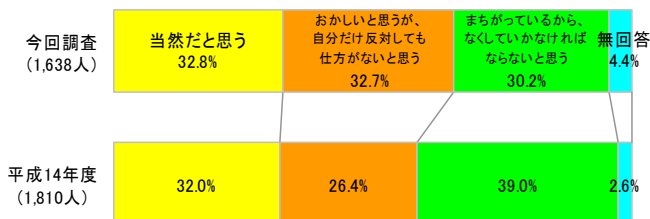
前回調査と比較すると「当然だと思う」が1.5ポイント増加し、「なくしていくべき」が6.8ポイント減少しています。



## Q21 結婚にあたり、家柄や家族状況を調べること（聞き合わせ）について、あなたはどのように思いますか。

「なくしていくべき」と考える人は、3割ありますが、「当然だと思う」、「反対しても仕方がない」という人が合わせて6割強います。

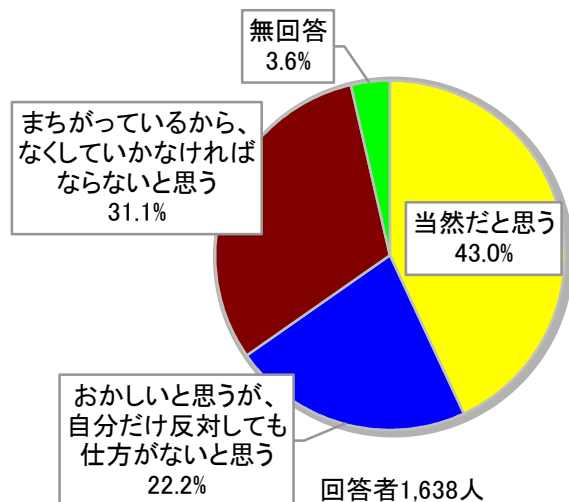
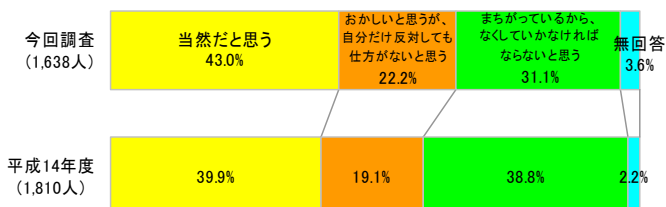
前回調査と比較して、「なくしていくべき」が、8.8ポイント減少しています。



## Q22 企業が採用選考のとき身元調査をすることについて、あなたはどのように思いますか。

「なくしていくべき」と考える人は、3割ありますが、「当然だと思う」、「反対しても仕方がない」という人が合わせて6割強います。

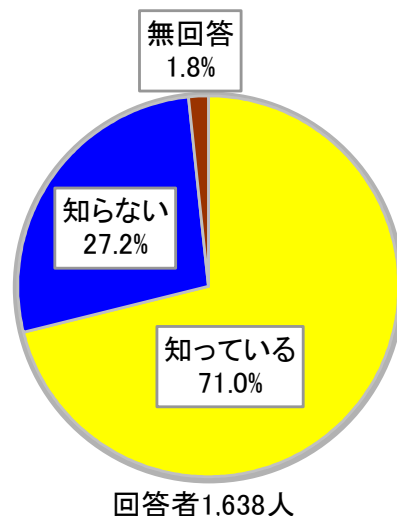
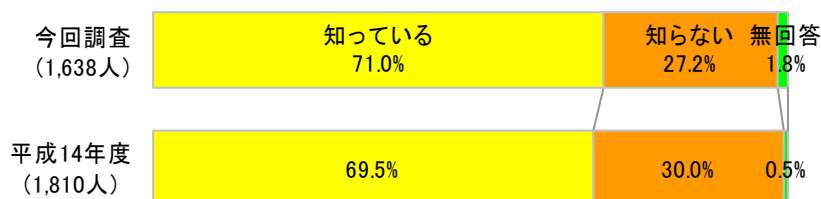
前回調査と比較して「当然だと思う」が3.1ポイント増加し、「なくしていくべき」が、7.7ポイント減少しています。



# 同和問題について

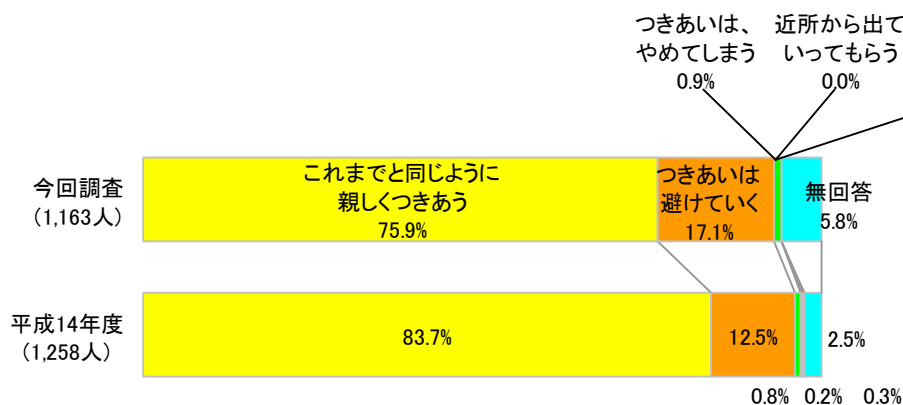
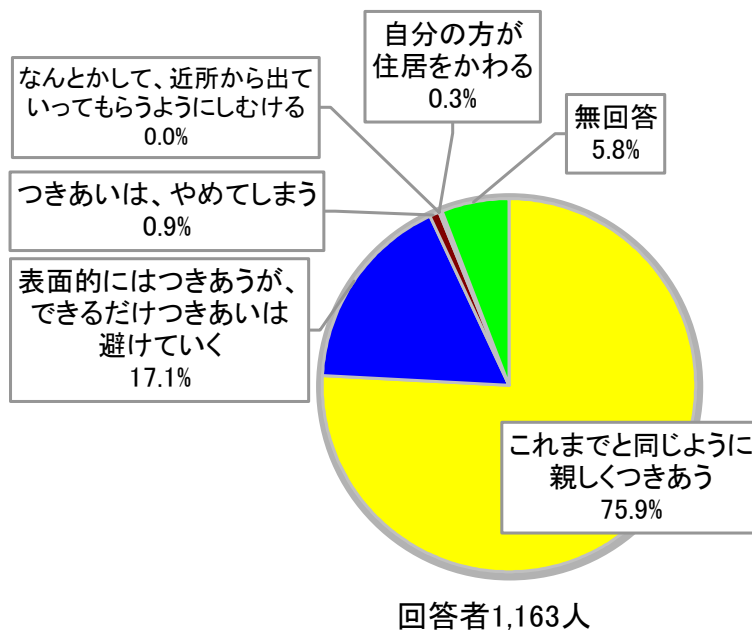
**Q23** あなたは、日本の社会に「同和地区」、「被差別部落」などによばれ、差別を受けてきた地区があること、あるいは「同和問題」「部落差別」「部落問題」といわれる問題があることを知っていますか。

前回調査とほぼ同様に、7割の人が「知っている」、3割の人が「知らない」と答えています。



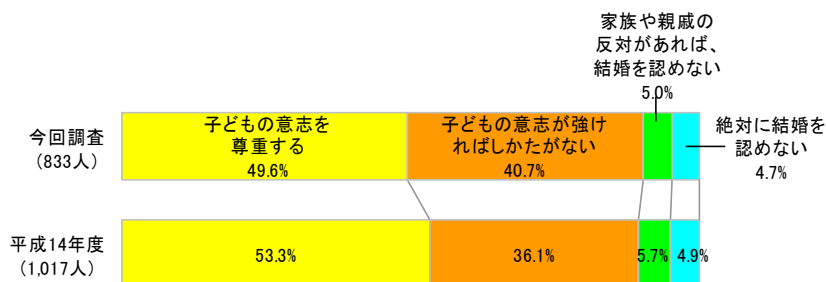
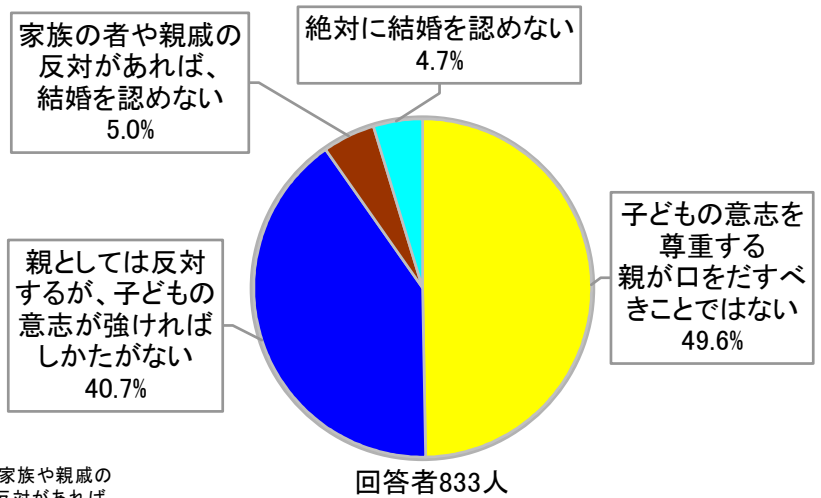
**Q24** 仮に、日ごろ親しくつきあっている隣近所の人々が、なにかのことで、同和地区の人であることがわかった場合、あなたはどうしますか。  
〔Q23で同和問題を「知っている」とした人に質問しました。〕

7割強の人は、これまでと同じようにつきあうと答えています。一方「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいは避けていく」、「つきあいは、やめてしまう」など忌避的な答えをする人が2割弱みられます。前回調査と比較して、忌避的な答えをする人が約5ポイント増加しています。



**Q25 お子さんのいる方にお聞きします。あなたのお子さんの結婚しようとする相手が同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどのようにしますか。**  
 (Q23で同和問題を「知っている」とした人に質問しました。)

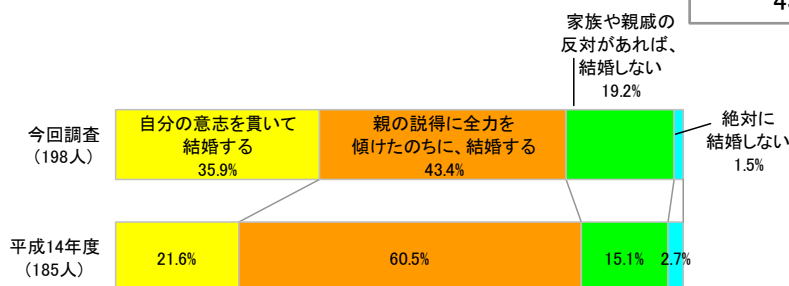
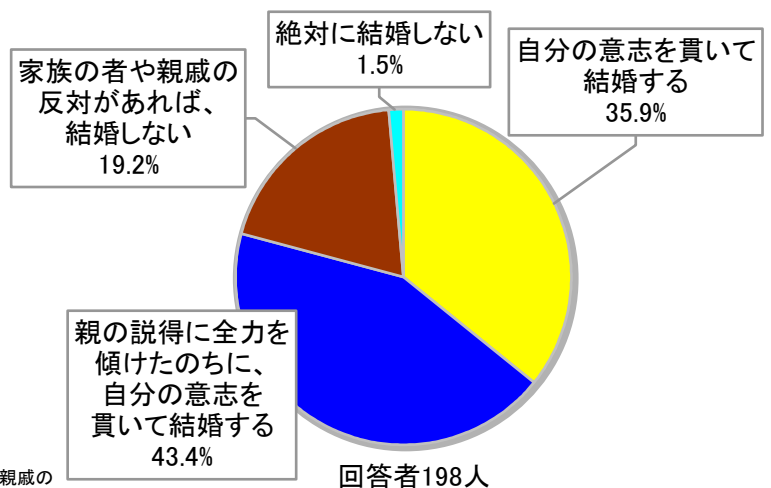
約5割の人は、「子どもの意志を尊重する」と答えています。一方「反対するが、子どもの意志が強ければしかたがない」、「家族の者や親戚の反対があれば、結婚を認めない」、「絶対に結婚を認めない」という人が合わせて5割います。



**Q26 未婚の方にお聞きします。あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとするとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどのようにしますか。**  
 (Q23で同和問題を「知っている」とした人に質問しました。)

「自分の意志を貫いて結婚する」、「親の説得に全力を傾けたのちに、自分の意志を貫いて結婚する」と答えている人が約8割います。一方「反対があれば結婚しない」、「絶対に結婚しない」とする人が2割あります。

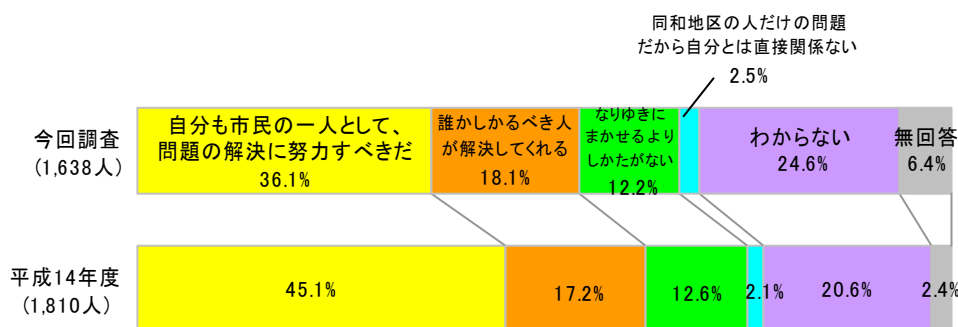
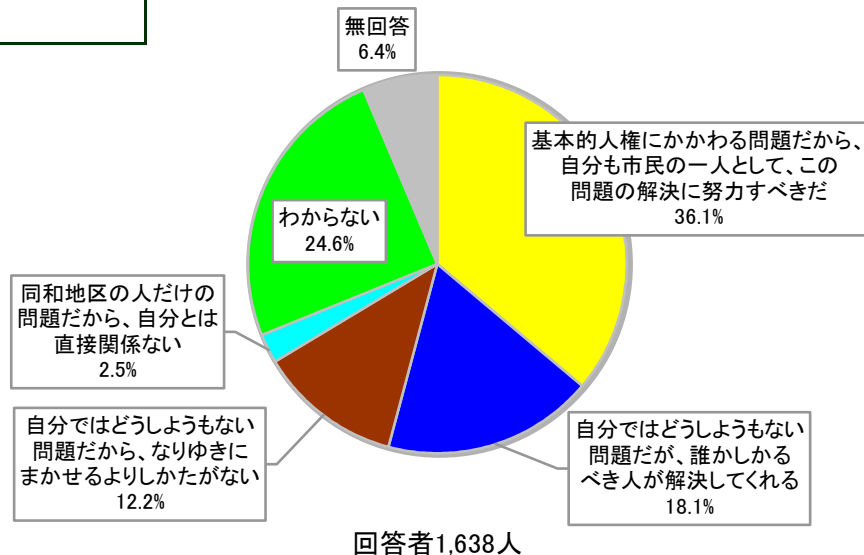
前回調査と比較すると「自分の意志を貫いて結婚する」人が14.3ポイント増加していますが、「家族の反対があれば結婚しない」人も4.1ポイント増加しています。



## Q27 同和問題の解決に対するあなたの考えに最も近いのはどれですか。

「基本的人権にかかわる問題だから、自らも解決に努力すべき」と考える人が4割弱いますが、「なりゆきにまかせる」、「誰かが解決してくれる」と消極的な人も合わせて3割います。

前回調査と比較すると、「自らも解決に努力すべき」と考える人が9ポイント減少しています。



### 回答者について

対象者	回収数	白紙	有効回収数	有効回収率
3,000	1,640	2	1,638	54.6%

年齢/性別	男性	女性	無回答	地域	人数 (%)
20～29歳	68 (9.4%)	94 (10.3%)	-	名古屋地域	505 (30.8%)
30～39歳	114 (15.7%)	176 (19.3%)	-	尾張地域	550 (33.6%)
40～49歳	146 (20.2%)	210 (23.1%)	-	西三河地域	391 (23.9%)
50～59歳	193 (26.7%)	195 (21.4%)	-	東三河地域	185 (11.3%)
60～69歳	134 (18.5%)	157 (17.2%)	-	無回答	7 (0.4%)
70歳以上	66 (9.1%)	79 (8.7%)	3 (100.0%)	総計	1,638 (100.0%)
無回答	3 (0.4%)	-	-		
総計	724 (100.0%)	911 (100.0%)	3 (100.0%)		

### 調査の概要

調査期間：平成19年12月27日～平成20年1月18日  
 調査対象：愛知県内に居住する20歳以上の3,000人  
 抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法

### 愛知県県民生活部県民総務課人権同和对策室

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6167 (直通)

<http://www.pref.aichi.jp/jinken/>

(平成20年3月発行)